

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ JRRN 会員寄稿記事.....	2
➤ 「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ.....	3
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	4
➤ JRRN 会員募集中.....	5

JRRN 事務局からのお知らせ JRRN Activity Report

新型コロナウイルス感染拡大防止への JRRN の対応について（お問い合わせ方法）

JRRN 事務局では、新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、現在、リモートワークの活用等による在宅勤務に取り組んでいます。事務局職員の在勤時間は 11 時から 15 時の間を基本とし、交代制で事務局に在席していることから、この期間中は電話が通じない場合もございますので、JRRN 事務局へのお問い合わせ等につきましては、メール（info@a-rr.net）deno でのご連絡をお願い致します。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

「できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集」印刷版 希望者配布中



2020 年 3 月発行「できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第 2 集」（印刷製本版）の送付をご希望の方へ、送料（250 円）のみご負担頂いた上で、2 冊を上限に無料で配布中です。（2 冊まで送料は同じです）

送料のお支払方法は、「郵便切手の事前送付による支払い」または「PayPay による支払い」が選択できます。各支払い方法別の申込受付ページより、『①氏名』『②送付先郵便番号』『③送付先住所』『④メールアドレス』『⑤必要冊数（1 or 2 冊）』を入力してお申し込み下さい。（事務局からの送付は郵便を用い、ポストへの投函となります）

郵送申込方法の詳細は以下のページをご確認の上、専用ページよりお申し込みをお願いします。

※詳しくはこちら：<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html>

今年度「小さな自然再生現地研修会」の開催予定について（令和 2 年度河川基金助成事業）

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大が現在も続いていることから、今年度実施予定の「小さな自然再生現地研修会」の開催可否や新たな開催方法等について JRRN 事務局内で現在検討中です。

2015～2017 年度までシリーズ開催しておりました「小さな自然再生現地研修会」の続編として、全国で 3 回の現地研修会開催を予定しておりますが、オンライン開催等を含めた企画検討に着手し、本ニュースレタ 8 月号で改めて皆様にご案内させていただきます。

昨年度制作した事例集等も活用しながら、国内の小さな自然再生の担い手や新たに取組みたいと関心をお持ちの方々、また「小さな自然再生」研究会メンバーと調整しながら、今年度の現地研修会の開催に向けた企画と準備を進めてまいります。

なお、これまで開催した全 8 回の「小さな自然再生現地研修会」の開催報告は、以下のページよりご覧いただけますので、皆様の活動に際しご活用頂ければ幸いです。

※研修会開催報告書：<http://www.collabo-river.jp/events/>

水辺からのメッセージ No.134

岡村幸二 (JRRN 会員)

江戸三名園の名残り： 幕末までは松平家の上中屋敷 今は付属小学校の自然観察園



撮影：2020 年 6 月（東京都文京区・占春園）

◆学園のまちに別世界空間

隣接する広々とした教育の森公園とは異なり、斜面と低地を活かして、鬱蒼としたササに覆われた樹木が茂る旧庭園です。現在は筑波大学付属小学校の自然観察園として管理されています。

◆当時は江戸三名園の一つ

1746（延享 3）年に建てられた碑文には「我が公の園は占春と名づく。その中見る所は、梅桜桃季、林鳥池魚、緑竹丹楓、秋月冬雪、凡そ四時の景有らざるは莫し」とあります。江戸時代にはホトギスの名所として知られていたそうです。

■ 連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーは JRRN ホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

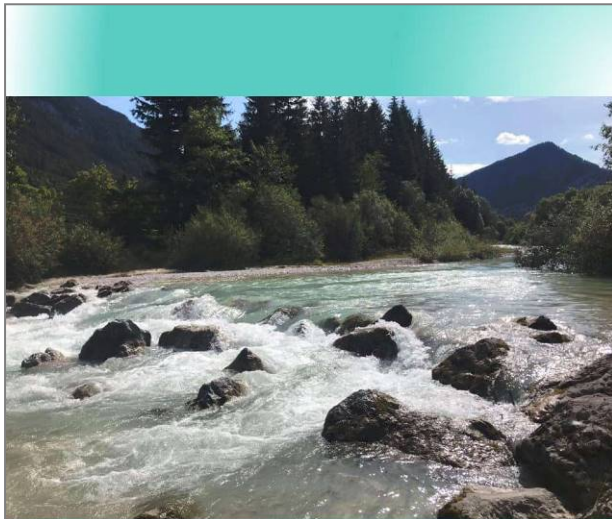
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ *Nature-oriented River Management Support Center*

※『多自然川づくりサポートセンター』は、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、気軽な相談窓口、情報の共有等を担い、（公財）リバーフロント研究所が事務局を務めています。JRRN は、多自然川づくりサポートセンターと連携して川づくりの推進に取り組んでまいります。

『令和元年 欧州近自然川づくり調査報告』のご紹介

多自然川づくりサポートセンター事務局



令和元年 欧州近自然川づくり調査報告

令和2年3月
欧州近自然川づくり調査団

本調査報告は、令和元年9月8日から15日にかけて実施された欧州近自然川づくり調査団（団長：辻本哲郎 名古屋大学名誉教授）によるドイツ・スイス両国における近自然川づくりの実態調査の結果について、令和元年12月19日に開催された報告会の再録という形でとりまとめたものです。

報告会のご講演において右記調査地区の先進的な取組がご紹介されておりますので、ご活用ください。

【調査報告の構成】 全16ページ

- ・調査概要（日程・工程、調査箇所位置、調査団名簿）
- ・報告会概要（開催日時、次第、挨拶）
- ・講演1 ドイツ・スイスの取組の変遷
辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）
- ・講演2 ドイツ・スイスの取り組みの鍵となる視点
池内幸司（東京大学大学院工学系研究科教授）
- ・講評 足立敏之（元技監・元水管理・国土保全局長/参議院議員）

【調査対象地区】

【ドイツ・バイエルン州】

- ①アルトミュール川の再蛇行事例
- ②アルトミュール湖の環境代償と水質浄化対策、
- ③イザール川の再自然化/ミュンヘン

【ドイツ・バイエルン州】

- ④ロイスバッハ川の近自然化/グロースヴァイル
- ⑤急流河川カルトヴァッサーライネ川の近自然川づくり/オールシュタット
- ⑥イザール川の近自然化/ミッテンヴァルト
- ⑦ロイスバッハ川の市街地内近自然化/ガルミッシュ＝パルテンキルヒェン
- ⑧ボーデン湖ランゲンアルゲンの湖岸の近自然化事例

【スイス・チューリッヒ州】

- ⑨リマット川河畔公園/チューリッヒ
- ⑩テス川の近自然化/ヴァンタートゥール・ハルト地区
- ⑪クレープスバッハ川の高速度道路建設ミティゲーション/ネフテンバッハ
- ⑫トゥールの治水対策：平堤・引堤/アンデルフィンゲン
- ⑬トゥールの治水対策：対象物保護/クライアンデルフィンゲン
- ⑭トゥールの治水対策：低水護岸撤去、高水敷自然浸食による堤外での河積増加/アルティコン
- ⑮トゥールの治水対策：高水敷撤去/低水路拡幅、水制による護岸、越流堤/ギュエティックハウゼン
- ⑯トゥール川河畔ネイチャーセンター、ライン川合流部トゥール川冠水域確保による治水対策



◆調査報告のダウンロードはこちらから

（公益財団法人リバーフロント研究所ウェブサイトへジャンプ）

<http://www.rfc.or.jp/result7.html>

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2020年6月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■「城下町金沢の遺産 辰巳用水を守る」新刊書籍案内



NPO法人辰巳用水にまなぶ会

金沢の土木遺産「辰巳用水」の歴史と管理手法を丁寧ににつづった書籍の発刊案内が NPO 法人辰巳用水にまなぶ会より届きました。

- 書名： 城下町金沢の遺産 辰巳用水を守る
- 著作： NPO 法人辰巳用水にまなぶ会
- 発刊日： 2020年4月20日
- ISBN： 978-4890107681
- 定価： ￥1,320
- ◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3678.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「庄内川の語り部一次世代に伝えたい、きれいだったあの頃—」冊子発刊案内



この冊子は、庄内川の語り部が、1950年代から1970年代にかけての庄内川の様子を、写真やイラスト、文字で残しています。この冊子は、庄内川の語り部が、1950年代から1970年代にかけての庄内川の様子を、写真やイラスト、文字で残しています。

「矢田・庄内川をきれいにする会」より、冊子「庄内川の語り部—一次世代に伝えたい、きれいだったあの頃—」発刊及び冊子無償配布受付中のご案内を頂きました。

- 書名： 庄内川の語り部一次世代に伝えたい、きれいだったあの頃—
- 著作： 矢田・庄内川をきれいにする会
- 発刊日： 2020年3月
- ◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3682.html>

【海外からの提供情報】

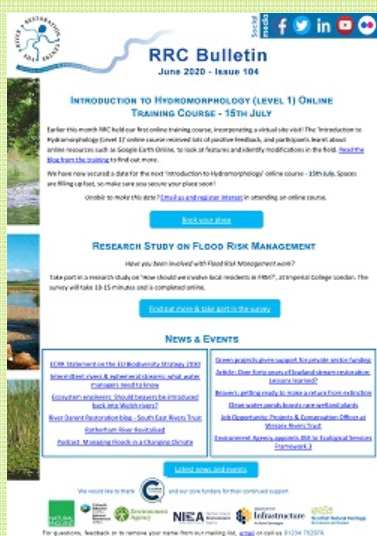
■「RRC (英国河川再生センター) 最新会報」紹介

RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (2020年6月号) が事務局より届きました。

本号では、RRC のオンラインによる河川再生研修案内、Imperial College London が実施する洪水リスク管理への住民参加に関わるアンケート調査の紹介、また英国内及び欧州の河川再生に関連する記事やレポート等が紹介されています。

- ◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3694.html>



【海外からの提供情報】

■「第23回国際河川シンポジウム (Riversymposium)」オンライン開催案内



毎年秋に国際河川財団主催で開催される「国際河川シンポジウム (International Riversymposium)」の開催案内が事務局より届きました。第23回となる本年は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大を受け、11月10日～12日に、初となる「オンライン会議」として開催されることが決まりました。

- ◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/3690.html>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

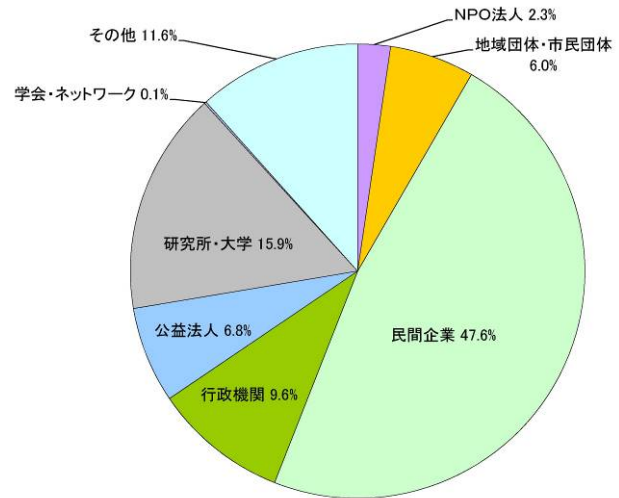
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2020年6月30日時点の個人会員の所属構成
 (個人会員数：807名、団体会員数：60団体)
 ※6月の新規入会数：個人会員4、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表（団体会員・個人会員）

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内
 Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net
 URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>